

# 下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（議事録）です。

1月23日（火）

第5回江東内部河川流域連絡会が開催されました。



平成13年1月23日（火）PM2:00～  
江東区文化センター 5階第6、7会議室  
において「第5回江東内部河川流域連絡  
会」が約2時間にわたり開催されました。

- ・ 都民委員9名（墨田区、江東区、江戸川区各3名）、行政委員10名の計19名のうち、18名が参加しました。
- ・ オブザーバーとして東京都下水道局より1名と臨時委員3名に参加していただきました。

当日は新委員の紹介、および新座長の選出、これまでの連絡会のまとめ、河川情報の提供があり、最後に1回から5回までの流域連絡会の各委員の感想を述べていただきました。

## これまでの連絡会のまとめ

### 要望および質問

#### □整備方針について

- ①子供から高齢者まで、多くの人々が近寄れる川であってほしい。
- ②旧中川の植栽には園芸種が多いが、もっと“ヨシ”などの固有種があってもよい。
- ③街づくりと連携した整備をしてもよいのではないか。
- ④扇橋閘門の施設は、多くの方々に見学してもらえるよう周辺の遊歩道も含めて整備しては、
- ⑤横十間川には高木があるが、旧中川にも高木植栽がほしい。
- ⑥水位低下はどのような経緯で行うこととなったのか。
- ⑦100mm/hを越える集中豪雨が江東地区で降った場合どうなるのか。
- ⑧江東内部河川のハザードマップ（浸水予想区域図）を作る予定はあるのか。

#### □河川環境について

- ①横十間川（親水公園）の水質改善をすべきではないか。
- ②大横川（親水公園）の汚れが目立つが、地域の方々に協力してもらおう仕組みは出来ないか。

#### □情報公開について

- ①水質について情報公開してほしい。
- ②情報公開の時代なので、建設省が取り組んでいる様な姿勢がこれからの河川行政に必要なではないか。

#### □その他

- ①内部河川が歩んできた歴史等を、地域住民に正しく受け継がれていくための内部河川歴史資料館的なものが必要である。
- ②行政側からの情報提供に合わせ、都民委員のもつ写真、資料等を収集・整理しそれを活用できる仕組み作りが必要だと思う。

## 対応策および今後の方針

### □整備方針について

- ①旧中川の高水敷整備では、水辺の散策に可能な限り配慮した整備を進めている。
- ②旧中川では、多自然型護岸整備を工夫してすすめてきたが、更に植生や水質等も含めて、今後の検討課題としてとらえていきたい。
- ③施設の見学については、積極的に応じていくことにしている。しかし、現段階では、周辺環境整備を実施する予定はない。
- ④旧中川は高水敷と水面との差が50cm程度しかなく、高水敷も水に浸かる計画になっている。また、セメント系の地盤改良を行い、硬い地盤となっているので、樹木の成長が悪いのではと考えている。今後この問題については、検討していく必要があると思う。
- ⑤江東地区は、工場群による地下水の過剰揚水や水溶性天然ガスの採取より、4m~4.5mの地盤沈下が発生した。この対応策として内部河川の護岸(堤防)を3~4回嵩上げしてきたが、昭和46年建設大臣の諮問機関である「江東総合防災委員会」が設立され、西側の河川については耐震護岸を整備し、東側の河川については人工的に水位をA.P. -3.0mまで低下させるという整備方針が出された。その後昭和50年代に入って、地盤沈下は収束の方向を示し、昭和61年頃にはこれ以上の地盤沈下は発生しないという判断のもと、当初A.P. -3.0mまで低下させる計画をA.P. -1.0mに見直した。
- ⑥下水道のポンプは50mm/h対応で整備されているので、100mm/h分の雨が降った場合は、50mm/h分の雨は内部河川に流入し、荒川に排水されるが、残りの50mm/h分の雨は窪地・低地に多少冠水の発生が考えられる。
- ⑦ハザードマップの作成、公表について検討していきます。

### □河川環境について

- ①一部水質浄化を図り、水遊びが出来るようにしているが、基本的な考えとしては、ハゼ、ボラ、蟹等を見たり、自然との触れ合いを目的としているため、隅田川の水をそのまま利用している。そのため、シャワーを整備し洗って掃れる様にしている。
- ②当公園では委託業者による清掃や、その他補修等も区で対応している。他の公園では地域の方々に協力を願っている所もあるので、今後そういう組織づくりを考えていきたい。

### □情報公開について

- ①環境局では、インターネットにより水質だけでなく、大気も含めて随時、情報提供する形を取っている。
- ②言われる通り情報公開の時代なので、当流域連絡会でも運営方法を改善していき、集められた意見等を反映させていきたい。

### □その他

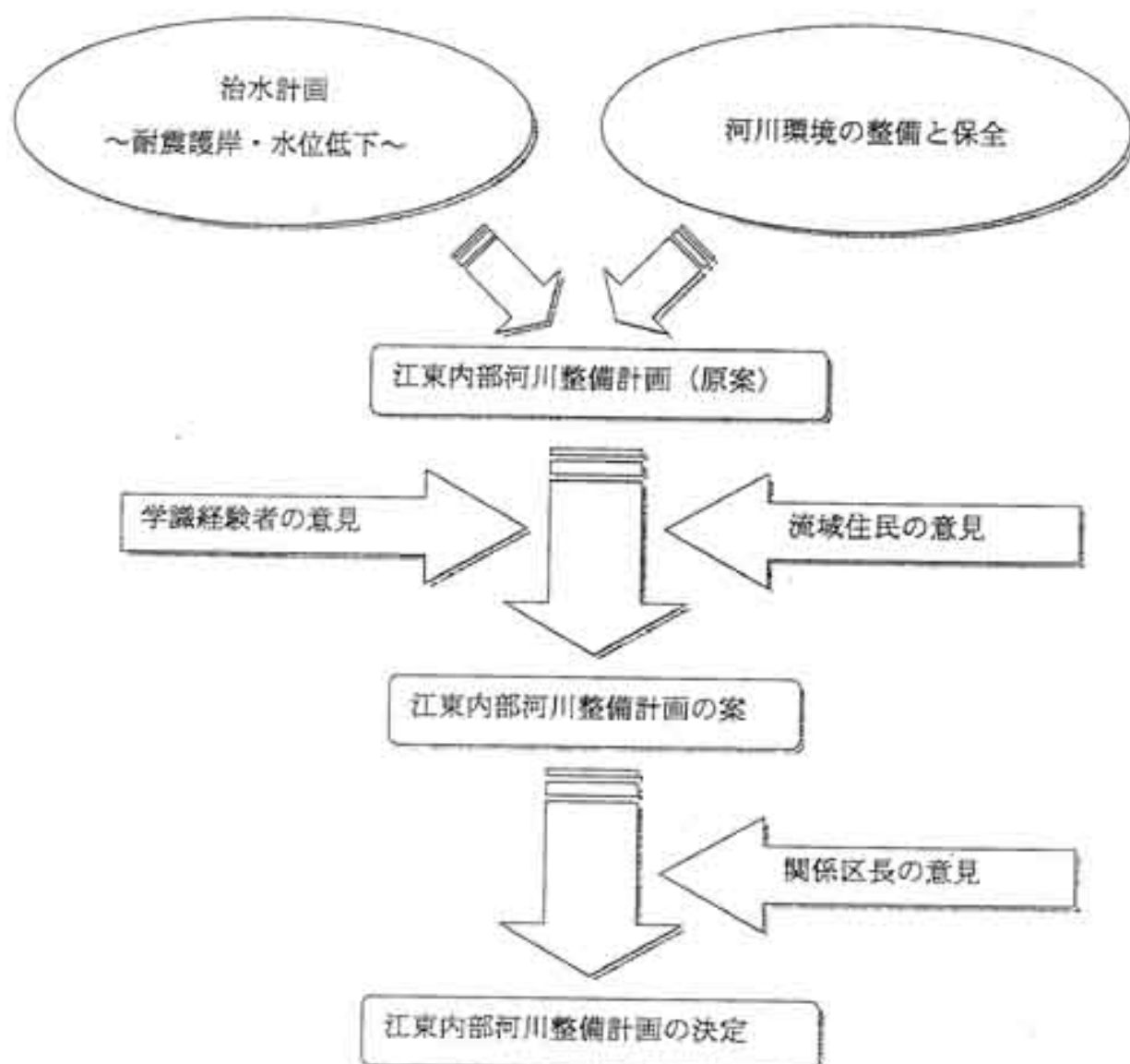
- ①江東区では、内部河川の過去の水害記録等を展示している“親水館”を作ったので、利用願いたい。

## 江東内部河川整備計画について

### 江東内部河川整備計画の策定作業を開始しました

平成9年度の河川法改正に伴い、法の目的として、これまでの「治水」「利水」に加えて、「河川環境の整備と保全」が新たに位置づけられることとなりました。

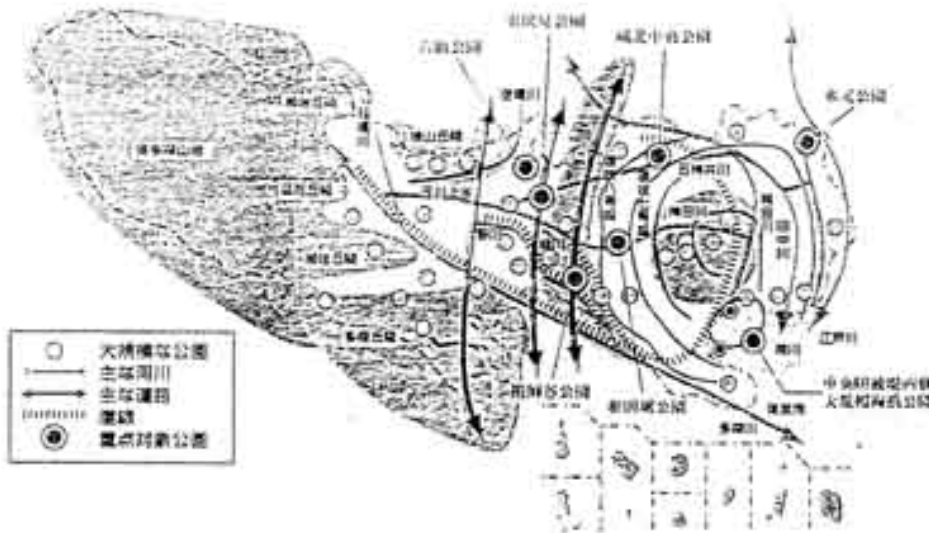
これを受けて、東京都では江東内部河川11河川を対象に、「江東内部河川整備計画」の策定作業を本年度より開始しました。策定に当たっては、西側河川を耐震護岸、東側河川を水位低下河川として整備する、現在の治水計画を基本に、平成10年の「下町河川の明日を創る会」報告や、この流域連絡会での意見、流域住民の意見等を参考にして進めていきます。



# 東京構想2000

## □水と緑の骨格軸を形成する

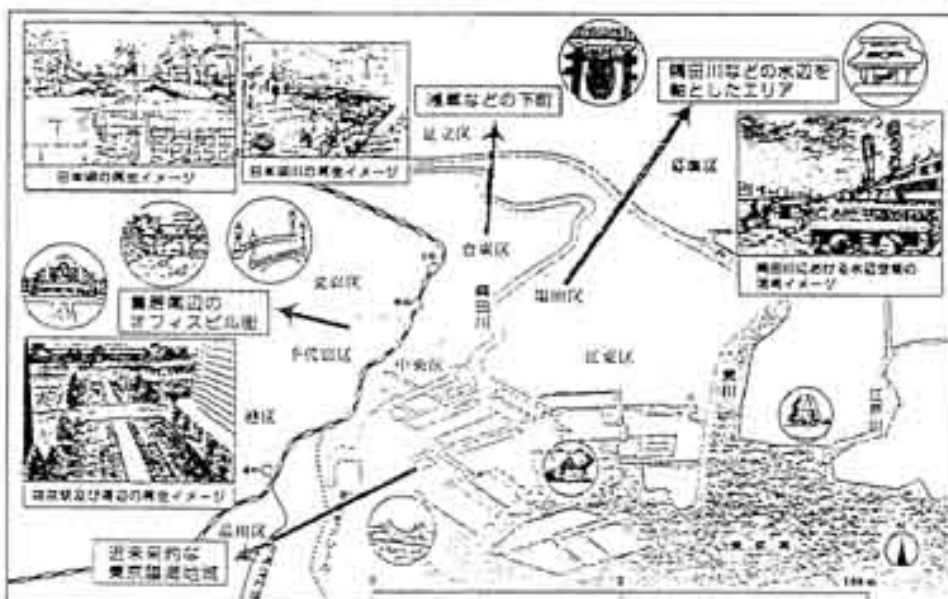
大規模な公園、幹線道路、水辺空間などの公共空間を活用し、効果的かつ効率的に、つながりのある水と緑の骨格を形成します。



- ・ 河川空間を生かし、地元区市町村とも協力して緑化を進めます。
- ・ 合流式下水道の改善により、河川で魚のすみやすい環境を作ります。

## □東京の「顔」をつくる

東京ならではの歴史、文化、地形などに裏打ちされた魅力的な東京の「顔」をつくります。



- ・ 「顔」の整備
- ・ 「顔」の活用
- ・ 「顔」の発信

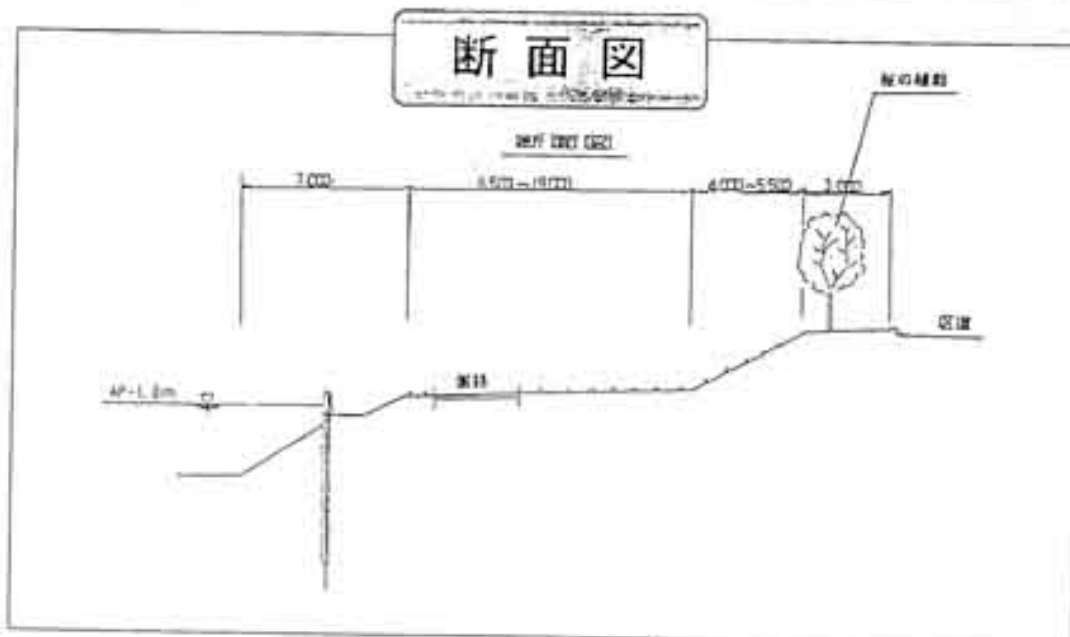
## 旧中川の桜の植栽（墨田区役所）

桜の種類はソメイヨシノです。これを3mの堤防天端（管理用通路）に6本植える予定です。

### 案内図



### 断面図



## 各委員の感想

### 木村委員

1回から4回までのこの要旨を見させていただきまして、だいたい、現在のニーズに合った、自然環境を残した形で進んでいるので、私も職業がうれしく思っております。やっぱり最終的に一番必要なのは何かというと住民の方々にどう理解していただくかということだと思いますので、特に行政の方に訴えたいのですが、住民の方々にどう理解していただくかに気を配っていただきたいと思います。例えば、行政の方が進められている旧中川みたいなものをせっかくすばらしいものを作っても、夏になったら蚊が増えたとか、虫が増えたという苦情が来たりすると思うのですが、本来そういうものも生物の一部であること理解していただかないと、せっかく行政側でいいことを進めても、また、苦情が来たから元に戻そうとなってしまうと、残念ですので、せっかくカワセミも戻ってきたみたいですので、その様に都会にも鳥がどんどん戻ってくるような環境を作っていただけを望んで、私の言葉にさせていただきます。

### 田中委員

私は旧中川という名称を住民から募集をしまして、新しい川を名づけたらどうかということを提案したいと思います。一番下流の閘門が完成する時期までに広く名前を募集して、その間、いろいろな写生会だとか、ウォーキングだとか、マラソンとかそういったものを企画しながら、そこに参加する人たちから名前を募集して、自分たちの川としての認識を高めてもらうというようなことを提案しておきたいと思います。

### 須永委員

普段の暮らしの中で、通勤路であったり、散歩道であったりとか、どちらかという川の周りを景色として眺めるみたいな川へのふれ合い方をしていたのですが、この会に参加させていただいて、下水道局の方の苦勞とか建設局の方の護岸の整備とか、不法係留の話とか、いろいろな立場の方がいろいろかかわって、この川を守って、こういう景色が出来上がっていることがすごくよくわかりました。特にこの前、私どもでイベントをしました時、お子さんに船に乗っていただいたのですが、乗れてすごく楽しかったと喜んでいました。小さいうちから川に対する認識を育てるということは大事ですので、子供が川に関心を持つチャンスを作っていただけたらと思います。

### 藤井勇委員

いろいろ勉強させていただき感謝しております。次の年度には、まったく新しい住民側委員が参加されることによって期待が大きいのですが、いささか心配な部分がないわけではありません。と申しますのは、新委員が新鮮な感覚で議論なさるのは良いことなんですが、過去4回の流域連絡会の成果の上になされないと意味が薄いと思うのです。そのような観点から新年度にスタートされる際

は、これまでの議論の資料を事前に新委員に配るとか、できるだけ前向きの方角での議論を引き出していただきたいと思います。

#### 藤井達生委員

この会に参加させていただいて、行政の方からいろいろな情報を聞かせていただいて、わからないことがたくさんあったのですが、少しずつ理解することができました。本当にありがとうございます。それから、この会もこれで終わりということなのですが、住民として自分たちでどんなことができるのかということを考えております。行政の方に負担をできるだけかけないようにしながらも、住民としてどんなことに参加できるのかなとか、あるいはやはり住民の顔が見えるような親しめるような川になってほしいと思いますので、今、須永さんと藤井さんと一緒に水辺と親しむ会という団体を活動しているのですが、そういった活動をとおして、これからの行政の方とどういった連携をしていくかを模索しながら考えて活動していきたいと思っています。

#### 中田委員

皆さんと同じようにいろいろな普段、手に入れられない情報をいろいろ与えていただいて、私自身が消化不良なところもたくさんあるかなと思いますが、治水だとか普段の暮らしを守っていただいているという部分は、漠然とですが非常によくわかりました。今後、共通の認識、共通のバックグラウンドにたって何か新しいものを模索して、何かを見出していくと素晴らしいものになっていくのではないかと思います。10年後の内部河川、100年後の内部河川というものを誰かが考えなければならぬと思うし、それがそこを生活の場としている我々が考えるあるいはイメージすることが必要だと思います。

内部河川は非常にコントロールされた川ですから、高木が植えられるんじゃないのかなという気が今でもします。夏場高木があって日陰があるというのは水辺にとっても行きやすくなるのですね。小さな子供も含めて日陰、木陰というのは東京の街の中に戻してあげたいなと思います。生活の場として内部河川を考えた場合には高木のもつ意味というのは、皆さんの想像以上にいいものになるんじゃないかなと思います。それが結果的に川にふれ合うことになるんじゃないかなという気がします。一年間ありがとうございました。

#### 西田委員

会の委員のあり方として、こう何回か出てきて情報をいただいている時間が長いというか、それはそれでありがたいのですが、連絡会の情報の収集というか、情報を行政側から与えるだけで大半が終わってしまったことがちょっと残念でございます。できれば資料を事前の配布資料として頂戴しておいて、出席者もそれを読んでくるということのを前提にすれば、もう少し別の討議が開けたの



ではないかと思います。江東内部河川整備計画の資料がございますが、この中にみんなで作る下町河川という部分がございますけれども、どうもこの辺が欠けていたんじゃないかな。ただ、共通の情報で共通の認識を持つということは大変重要でありまして、それがなければなかなかそういうふうにとまらないのですが、できれば来期以降はそういう形にしていただければもう少しいろんな部分が膨らむんじゃないかと思います。

#### 斉藤臨時委員

前に私は旧中川で江戸時代から昭和の半ば頃までに動いていた船で帆で走って皆さんに見せてみたいという願望があります。それは建設省でも話したと思うし、東京都にも何か資料がいていると思いますが、そういうのをひとつ検討していただけないかなと思います。船大工さんが元気なうちに、猪牙舟<sup>ちよきぶね</sup>がこういうものだったというのをおみせしたいなと思っております。私は小名木川の縁で育ったもので、川に関してはより懐かしいというか、離れがたいというものをもっているのですが、あの護岸を見ると、少しさびしいなと思います。私が子供のころは護岸というものがございまして、川からじかに道路ですから、せめていらなくなった堤防だけを低くしてもらって、川が見えるようになったら、だいぶ様相も違ってくるのではないのでしょうか。

#### 吉田臨時委員

私の写真を見ていただいてありがとうございました。

もしまたお役に立てるようなことがありましたら、協力させていただきます。

### \*注 猪牙舟（ちよきぶね）

江戸の町人にタクシーのように重宝された小型の舟。  
吉原へ遊びにでかける男たちに人気があったことで有名です。  
スマートでスピードが出るのは良いのですが、櫂で漕ぐため揺れがひどく、  
乗り易いものではなかったようです。



## 江東内部河川流域連絡会（第5回）・委員名簿

都民委員 (9名) ※7月14日順	勝田 幸雄 木村 幸一郎 須永 倣子 田中 兼勝 中田 由和 西田 寛 藤井 勇 藤井 達生 増田 レア	江戸川区 墨田区 江東区 墨田区 江戸川区 江戸川区 江東区 江東区 墨田区(欠席)
行政委員 (10名)  (オブザーバー)	渡邊 正雄 粒來 堯 高井 聖 柿沼 潤一 伊藤 博 井内 克巳 若尾 啓介 内野 吉男 ◎藤井 賢介 村上 勝利 前田 吉政	墨田区土木部工事課長 江東区土木部河川公園課長 江戸川区土木部計画課長 東京都環境局環境改善部計画課長 東京都下水道局計画部施設計画課長 東京都建設局河川部副参事(係留船等対策担当) 東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当) 東京都第五建設事務所管理課長 東京都江東治水事務所内部河川工事課長 東京都江東治水事務所水門管理課長 東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長
臨時委員 (3名)	加藤 勲 斎藤 富三 吉田 幹夫	江東区「灯籠流し」を行う会会長 江東区「和船友の会」会長 江東区

◎座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）  
 担当：藤井・高橋  
 電話：(03) 3692-4651 内線431 FAX (03) 3692-9955